

ネモフィラ



学年通信の名前が決まりました。『ネモフィラ』。ネモフィラ全体の花言葉は「どこでも成功」「可憐」「あなたを許す」です。愛らしいイメージのネモフィラですが、強い生命力を持ち、多少の日陰やアスファルトの隙間でも、ぐんぐん育っていく丈夫な一面も。そんな特徴から「どこでも成長」という花言葉がつけられたそうです。沢山のネモフィラが寄り添って咲く様子に目が行きがちですが、小さい花びらの中に織りなされる青のグラデーションも美しい花です。この花のように、一人一人が遅しく成長し、他者を許せる人になってくれれば…。名前を考えてくれた皆さんありがとうございました…

来週の予定

中学に入学して初めての定期考査が2週間後に迫ってきました。何事も最初が肝心。直前になって慌てても、良い結果には繋がりませんな(ー;)



日	曜	学校行事等	持ち物・提出物
9	月	50×⑥ 体力テスト開始 スタディーウィーク開始	白衣
10	火	50×⑥ 安全指導	
11	水	50×④ 職員会議 清掃なし 部活動再登校16時	
12	木	50×⑥	
13	金	50×⑥ ⑥総合(1組 理科 2組 音楽 3組 家庭 4組 技術)	白衣持ち帰り

※ 来週から試験までは金曜日6時間目の総合が授業に振り替わります。上記の予定を確認し、忘れ物がないように注意してください!!

1人の善行が。。。

今週の朝礼でも話をしましたが、先週いつものように校門に立って登校してくるみんなに挨拶をしていたところ、自転車に乗った女性が自転車を停めてお話してくれました。そのお話の内容は、5月23日の放課後の下校時に、ある生徒がとった行動についてでした。放課後の下校時刻に校舎前のファミリーマートを進んだあたりで、年配の女性が歩道に倒れていたそうです。その女性を見かけた自転車の方も停まろうと思ったらふらついてしまったとのこと。それを見かけた、本校の女子生徒が声をかけ、倒れていた女性も、自転車に乗っていた女性にも手を貸して介抱してくれたとのことでした。その女性曰く、生徒さんはとても自然に助けてくれて、とても感心したのでお伝えしましたと仰っていました。自分もその話を聞いてとても嬉しくなりました。こういった場面に出くわしたときに、自然に助けられるといったところに、この人(生徒)の普段の姿が見えるようです。みんなにもこういった経験があるかもしれませんが、道端に倒れている人を見かけて、とっさに声を掛けたり、自分から関わろうと出来るのでしょうか?そこには普段からの考え方や行動と、少しの勇気が必要なのかもしれません。新聞やニュースで、人助けをした中学生や高校生の話を目にすることがあります。そういった人たちのコメントを見ると、多くの場合、「見て見ぬふりは出来なかった」、「声を掛けないで、後から後悔したくなかった」といった言葉を目にする気がします。後から、「あの人どうなっただろう…」と心配するくらいなら、少しの勇気をもって声を掛けてみた方が相手にとっても自分にとっても良い結果に繋がるはずです。そして、そういった善行は、今回のように誰かの役に立って、自分の人生をより良いものにしてくれるものです。特別なことをする必要はありません。困っている人を見かけたら、声を掛け、行動できる人になってもらえたら…。そんな嬉しいことはありません。



裏面に続く

運動会を終えて (敬称略)

1組 中村 謙太

私が運動会を通して学んだことは三つあります。

一つ目は、計画することの大切さです。運動会を成功させるためには練習が必要なので、毎回運動会練習の前日に、練習の計画を確認していました。そうすることで、練習の時にスムーズに行動できるようにするためです。しかし、天候の影響で練習がスムーズに進まない時もありました。その時に「どうしよう」と焦ってしまったけれど、計画表を見て「今日は〇〇が出来ないから、△△をやろう」と、やるべきことを考えることができました。計画をすることで、何か問題が起きても落ち着いて行動することが出来ると思います。

二つ目は、実際に「やってみる」ことです。台風の日やオールスターリレーの入退場は、言葉だけで説明すると少しややこしく、相手に伝わりづらいです。実際みんなに言葉で説明しても伝わりませんでした。でも、実際に自分達でお手本を見せると、多くの人に伝わったので「実際にやってみる」ことが大切だと思いました。

三つ目は「挑戦すること」です。私は初め、「学級委員が大変だと思うから、運動会実行委員は他の人にやってもらおう」と思っていました。けれどチャレンジ（挑戦）してみると、「大変」という気持ちより、やりがいや達成感の気持ちの方が強かったです。また、運動会実行委員をやったことで、他クラスの人との友情も深まりました。このように、今回の運動会では様々なことが学べたので、これからの学校生活に自分の「武器」として生かしたいです。

2週間に渡って運動会の感想を掲載しました。中学校生活最初の大きな行事を終えて、一人一人の思いがあるかと思います。体調を崩して参加できなかった人も含めて、この思いは学年が進むにつれて先輩としての思いに変化していくのが楽しみです。頑張れ1年生！！

お年寄りのつぶやき

最近梅雨前の清々しい陽気が続いている。とはいえ、朝晩に突然の雨がある日も増えてきて、そろそろ梅雨入りかねえ～なんて気持ちになる。この季節になると厄介なのが蚊。昔には都市伝説が沢山あって、「血液型で刺されやすい人がいる」とか、「汗をかくと刺されやすい」とか言われているけれど、真相はどうなんでしょう。かくいう自分は非常に刺されやすい…。前任校の体育館で部活を見ていた時の事。隣には20代・体育科・お酒もたばこも吸わない健康そのものの三浦先生という人がいた。二人で部活を見ていると、目の前をヨロヨロ飛んでいる蚊が低空飛行している。いかにもお腹一杯で早く飛べませんって感じ。持ってたうちわで叩いてみると、案の定、腹パンパンに吸い込んだ大事な人様の血液がうちわに「ピチャッ」とつく始末…。それを見ていた三浦先生。「また先生喰われたんですか？」と同情してくれる。不思議なことに、隣にこんなに美味しそうな血を持った健康優良児（児童じゃないけど）がいるのに、何故かいつも蚊の被害をこうむるのは自分ばかり。二人とも半袖短パンでいるにも拘らず…。これが不思議で仕方ない。まだ江戸川区にクーラーが完備される前の話なので体育館は窓を開けていていた時代。なおさら蚊の餌食になりやすかった。なのでこの季節が来ると憂鬱になる。実は今日も同じことが。出張で珍しく電車で通勤した時の話。気温が上がリそうなので靴下をショートにしたため足首が無防備な状態。もうそろそろ一之江駅に着くころだなぁと外を見ると、車窓からは荒川放水路。そこで「？」ってな違和感を足首に感じて見下ろすと、今まさに「ごちそうさま」と言わんばかりのシマシマのやぶ蚊が足首から飛び立って逃げていくじゃあ～りませんか！！静かな車内に響き渡る、蚊の息の根を止めようと床に叩きつけられる自分の靴…。ヒットしたのかヒットしなかったのかはわからないけれど、蚊の姿は見えなくなった。そして視線を上げると、目の前の座席には半袖短パン姿の若者が…。「オイ！！」なんであんなに美味しそうな血が近くにあるのに、わざわざ俺の血を吸うかなあ！！しかも2か所も…。明日になったら、突然変異で蚊が寄り付かなくなる体質とかになってないかなあ…。ちなみに蚊は雌しか吸血活動はしないそうです。ここ数年は猛暑日が続く、蚊も活動しなくなる日が多かった。地球温暖化が進むと、蚊は夏の話ではなく、春や秋の話になるのかなあ。どうでもいいけど、もっと若い人から吸ってくれ！！

